

Catalogue No.
20692-2261

ご注文の際は、
ページ・番号・商品コードをご記入ください。

2261 化学防護手袋の選び方

81 棚・作業台

82 バスボックス・洗浄ラック

83 カート・台車

84 コニャーム

77 メニユー・卓上サイン

78 福祉・養育用品

79 店舗備品・インテリア

80 店舗備品・防災用品



労働安全衛生法改正
適切な化学防護手袋の着用が義務化されました。

厨房や食品製造・加工現場でも有害化学物質は使用されています。
例えば清掃や機器の洗浄に使われている洗剤等にも皮膚等障害化学物質が含まれていることがあります。
適切な手袋を使用して従業員を守りましょう。

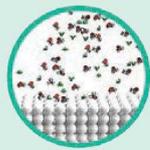
- ・次亜塩素酸ナトリウム
- ・水酸化ナトリウム 等…
(苛性ソーダ)

化学防護手袋着用義務の
対象化学物質です!!

化学防護手袋 って何？

化学物質の透過及び浸透の防止を目的として使用する手袋。
法改正へ対応するには一般的な手袋ではなく化学防護手袋である必要があります。

透過



手袋表面に接触した化学物質が吸収され、内部に分子レベルで拡散を起こし、裏面から離脱する現象。

浸透



手袋の縫合部やピンホール、キズ等の不完全な部分を通る化学物質の流れ。



有害な化学物質は眼に見えるレベルで直接触れていなくとも、透過によって皮膚から体内に吸収されてしまいます。透過も浸透もしない適切な化学防護手袋を選びましょう!

化学防護手袋の選定方法

- ①使用している化学物質を確認
 - 使用している洗剤等のSDS（安全データシート）をご用意ください。お手元になければ製造元にお問い合わせください。
 - ②江部松商事に選定依頼
 - SDSと作業内容・作業時間等の情報を江部松担当者にご提出ください。適切な化学防護手袋の選定をサポートいたします。
- ※透過データの調査と手袋の選定には数週間お時間をいただく場合がございます。

※厚生労働省は事業者に対しリスクアセスメントに基づいた『自律的な管理』を求めています。
使用する製品や使用方法等の最終的な決定は、各事業所で任命された保護具着用管理責任者の責任において行ってください。

●このカタログに掲載されている価格は、2026年6月1日現在のもので、税抜価格です。 ●価格・仕様は予告なしに変更する場合があります。予めご了承ください。